

■ ハビムテキスタイル / 家庭用、及び商業用テキスタイルの国際見本市
 messe frankfurt URL: www.messefrankfurt.com
 開催期間: 2011年11月12日～15日
 開催会場: フランクフルト国際見本市会場
 出展者 60カ国より2,601社 (明対5%アップ) 日本からは13社
 来場者 136カ国より3,000人 (明対3%アップ) うちドイツからの訪問25,200人
 「非常に満足できるフェアに、出展社様はおおきな期待で1年をスタートした」と報告。[メッセ・フランクフルトファナイルレポートより]

R-E-C-O-N-N-E-C-T

2010 It's time to be (時代の到来)
 2010 Respect to nature (自然を愛せ)
 2010 Love theme (愛のテーマ)
 そして2011 RECONNECT (再接続)
 輪廻転生のように、糸の糸は繰り返す。次の時代へとつなぐ...を表現。
 これまでのトレンドが作り手に対してのメッセージ性が高かった為、消費者との感覚とのズレが生じてきた。今、消費者との再接続をすることによって、さらに新しいものを生み出していこうという考え方。



今年のテーマ「RECONNECT」は4つのカテゴリーで構成され、次のページに掲載するように各カテゴリーごとに4つのキャプションに付けて掲載している。



■ カラー傾向
 カラーとニュートラルとマルチミックスをベースとするカラーグループ、キーカラーとしては、昨年同様のイエロー系と新たにブルー系に注目。ここ数年トレンドカラーとして強い印象を形成してきたピンク&パープルは、今年もボトトカラーとして成熟したカラーバリエーションを展開している。



■ パターン傾向
 具象的な「柄」の傾向はフローラル柄に代表される。手書き風、水彩、油彩など絵画的な表現、昔の壁紙の復活、民族調やレトロなモチーフによるアレンジでアップデートされている。
 一方抽象的な表現は、デジタルなテクニクによる織密でグラフィカルな表現が視覚的な深みと味わいを付けている。



■ クオリティー傾向
 ハイクラスなテクニクを駆使した織組織、刺繍の表現による派手さを控えたハイクオリティーな素材の傾向とハンドメイドや不揃い、アナログといったロウテクな味わい持つ素材やディテール、その双方に付加価値の高さを感じる。

